

2024 学年度 米山カウンセラー・米山記念奨学生 オリエンテーション

2024 年 4 月 27 日

ガバナー 淡路 徹

カウンセラーの皆様、新規奨学生・継続奨学生の皆様、オリエンテーションお疲れ様でした。

私は、2023-24 年度 RI2540 地区ガバナーで潟上ロータリークラブ所属、職業は 1946 年から米穀加工製造を 79 年間生業としている淡路 徹と申します。宜しくお願ひ申し上げます。

ロータリー米山記念奨学生制度は、他国にはない唯一の日本ロータリー活動の制度です。

呉宮委員長からも説明がありましたが、1920 年(大正 9 年)、日本において初めてのロータリー創立に尽力した「東京ロータリー初代会長 米山梅吉氏」の遺業をたたえる事業の一つとして発足しました。

米山奨学生制度は、第二次世界大戦を顧みて、将来、奨学生の皆様が母国と日本のかけ橋となってほしいとの願ひから、国際社会で活躍できる優秀な留学生を選抜し、ホスト世話クラブを定め、専任のカウンセラーを任命し、サポートを行っています。言ってみれば国際奉仕の最前線です。奨学生終了まで、ロータリークラブはじめカウンセラーのロータリアンファミリーのお力添えをもとに活動することになります。担当教員との交流も宜しくお願ひ申し上げます。

米山奨学生の皆さんへ、学業に邁進するとともに、願わくばこの人生の大切な奨学期間に日本の心に触れ、秋田の文化や習慣を存分に楽しみ、「秋田の良さを生涯の宝にさせていただきたい」と念願しています。是非お世話いただくロータリークラブ活動に積極的に参加して頂き、多種多様の職業人のプロフェッショナルなリーダーの方々から学び、社会参加や社会貢献意識を培っていただくよう交流を深めて頂きたいと存じます。併せて、世界のロータリアンが理想とする国際平和の創造と維持実現に貢献する人財となる事を強く期待しています。

奨学期間を終えた後も、このご縁、つながりを深めて頂くために、国内 34 地区および世界各国に米山学友会があり、現地のロータリアンとのつながりの会があります。是非ご参加下さい。

ロータリー米山奨学生出身者には、母国に帰ってガバナーを勤められた方々もいらっしゃいます。

結びに、新米山奨学生の皆さんへ、2024 年奨学生記念に「2023-2024 年度地区バッジ」をお渡しします。活躍をお願ひし、これからの奨学生生活が充実した日々となること、そして奨学生世話クラブとカウンセラーの皆様には、米山奨学生へのサポートを重ねて宜しくお願ひ申し上げ、開会の挨拶とします。